

No. 128
2019/6/21



OPEN オープンユニオン 岐阜大学職員組合ニュース UNION



岐阜大学職員組合発行

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
Tel. 内線 9552 Fax 058-230-1118
E-mail: kumiai@gifu-u.ac.jp
HomePage: 岐阜大学職員組合 (検索)

アンケートにご協力ありがとうございました

岐阜大学職員組合が2018年12月に実施した「要求項目と実態調査アンケート」には、最終的に824通という大変多くの回答が寄せられました。ご協力いただきありがとうございました。また今回のアンケート実施にあたっては、過半数代表委員の方々にご協力いただき、組合員以外の多くの職員の方からも貴重なご意見を集めることができました。配布にご協力くださった方々にもこの場をお借りしてお礼申し上げます。

職員組合では、アンケートに寄せられたご意見をふまえて、働きやすい職場を作るための団体交渉を先日申し入れ、現在交渉に向けて準備を進めているところです。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

(岐阜大学職員組合)

結果をお知らせします

以下、「要求項目と実態調査アンケート」の結果を、回答者個人が特定できないように差し支えない範囲でお伝えしていきます。

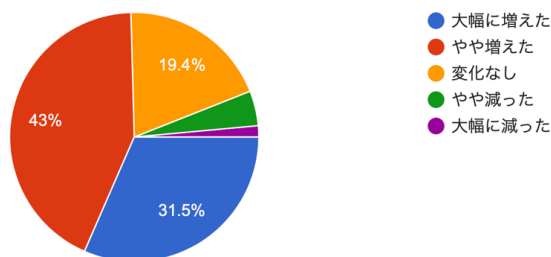
1. 組合員・非組合員問わず、幅広い立場の方からご意見をお寄せいただきました。

- ・「雇用形態」（回答数824件）では「常勤職員（月給制）」が約82%、「非常勤職員（パート職員）」が約11%などでした。
- ・「職種」（回答数770件）では、「看護職員」が約39%、「技術職員」が約17%、「教育職員」が約19%、「事務職員」が約22%などでした。
- ・「所属」でも、各学部・組織等からまんべんなく回答が寄せられました。
- ・「年齢」（回答数817件）を見ても、「30-39才」が約30%、「40-49才」が約24%、「20-29才」が約24%、「50-59才」が約16%など、多様な年齢層の方が回答いただいています。

2. 回答者の3/4が、3年前とくらべて仕事量の増加を感じています。

仕事の量（3年前と比べて。勤続年数3年未満の方は就職時と比べて）

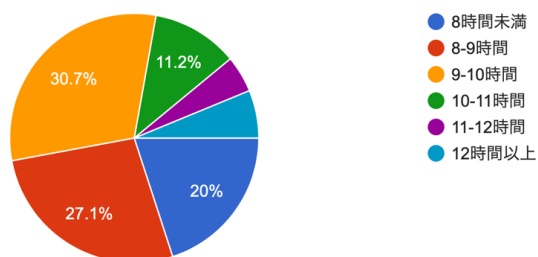
818 件の回答



「仕事の量」の質問を見ると、「大幅に増えた」「やや増えた」をあわせると約74.5%の方が、3年前とくらべて仕事量の増加を感じています。ここ数年だけを見ても、急激に仕事の負担感が増していることがうかがえます。

労働日の平均労働時間（裁量労働制の方は実質でお答えください）

820 件の回答

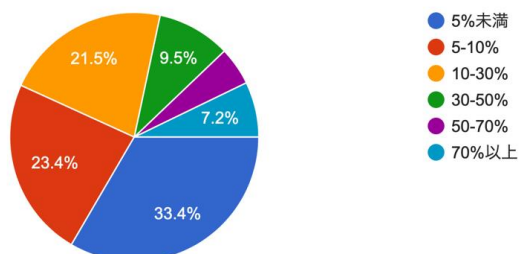


仕事量だけでなく、長時間労働も深刻です。「労働日の平均労働時間」はグラフのようになりました。全体で2割をこえる方が平均10時間以上の労働をおこなっていると回答しています。

3. 回答者の1/3は、5%未満しか有給を消化できていません

有給休暇の使用状況（制度上とれる日数に対する比率）

808 件の回答



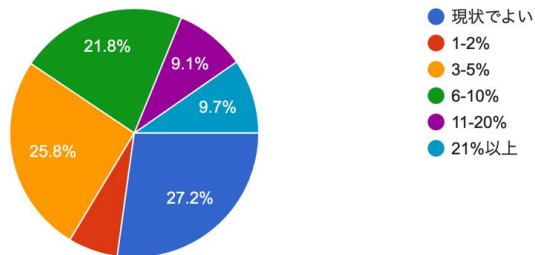
「有給休暇の取得状況」では、取得率10%未満の方が約57%、5%未満の方だけでも約33%にのびました。自由記述欄でも、有給休暇がほとんど取れない、希望通りに取れないなどといった意見がかなりの数寄せられていました。また、取得はできても仕事量が減らないので余計大変になってしまうという意見もありました。そもそも有給休暇は労働者が自由に取ることができるものです。この4月からは、有給休暇を1年間に5日以上取得

させることが義務化されましたが、これを形式的なものに終わらせず、職員が自分の意思で実質的に休むことができるようにしていく必要があります。

4. 給与の大幅アップを求める声も多く見られます

希望する昇給幅

776 件の回答

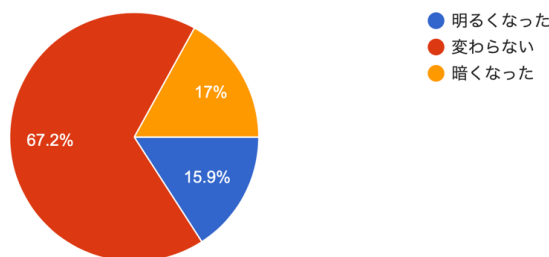


希望する昇給幅についてお聞きしたところ、「現状でよい」という回答が1/4強あった一方で、大幅な昇給を求める意見も多く寄せられており、給与への不満がかなり大きい実態が浮き彫りとなりました。自由記述にも多数の意見が寄せられましたが、なかでもパート職員の給与の低さ、ボーナスや昇給がないことへの不満がとくに多く見られました。組合としても、正規職員のみならず、同一労働同一賃金の原則に照らして、非常勤やパートの職員の待遇改善を強く訴えていく必要があります。現在準備中の団体交渉でも取り上げる予定です。

5. 職場の雰囲気は全体としては維持されています

職場の雰囲気（3年前と比べて。勤続年数3年未満の方は就職時と比べて）

819 件の回答

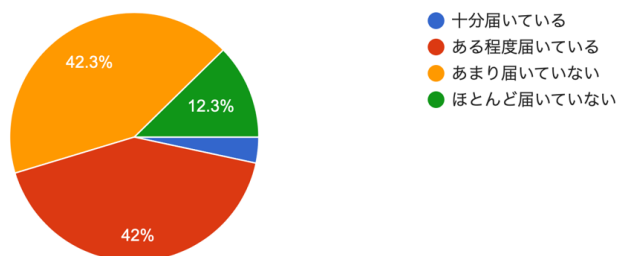


「職場の雰囲気」の質問では「変わらない」が多数、「明るくなった」と「暗くなった」がほぼ同程度となり、全体として3年前と大きく変わらない様子が見受けられました。仕事の負担感が増しているなかでも、職員の努力により職場の雰囲気が維持されていることがうかがえます。

6. 種々の改革をめぐる不安や意見

現在岐阜大学は様々な改革（大学内部...の程度届いていると感じていますか？

803 件の回答



「現在岐阜大学は様々な改革（大学内部のものも、外部と関係するものも）に取り組んでいます。改革に関する情報はどの程度届いていると感じていますか？」という質問では、「ある程度届いている」と答えた方が42%でした。一方、「あまり届いていない」も同程度あり、「ほとんど届いていない」という答えも12%ほどありました。

名古屋大学との法人統合にかんして、自由記述欄でもさまざまなご意見が寄せられました。目立ったものとしては、実質的に吸収合併となり、岐阜大学がなくなってしまうのではないかという趣旨の意見や、合併にともない人員削減がおこなわれることを心配しているという意見がありました。先日、関連する法改正がなされ、法人統合に向けた動きがさらに進むことが予想されますが、それにより労働環境が損なわれることがないよう、引き続き組合でも訴えていく必要があります（団体交渉でも取り上げる予定です）。

また、法人統合以外にも、去年の地域科学部改革案を疑問視する意見や、種々の改革続きで落ち着いた教育研究環境が失われていることを危惧する声が複数寄せられました。

団体交渉に向けて

職員組合では、アンケートに寄せられた以上のような意見をふまえて要求項目をまとめ、大学側に団体交渉を申し入れました（4月末）。先日予備交渉を終え、現在は本交渉に向けた準備をおこなっています。

交渉のくわしい内容や結果はまたあらためてお知らせします。引き続きどうぞよろしくお願ひします。

※以上で紹介した結果グラフは、「google form」を利用して作成したものです。なお、データはダウンロード保存し、すでにweb上からは削除してあることを申し添えます。

（書記長 柴田和宏）